



巻頭言／経営意識を高め、社会貢献活動の一層の充実を図る — 2

特別養護老人ホーム増改築へ地鎮祭 岩戸ホーム — 3

生活支援の受け皿に一ベトナム人留学生選考会に参加 — 3

29年度新規採用者(高齢者部門)内定式 — 3

岩戸ホーム・藤原施設長に厚生労働大臣表彰 — 3

研修・人材育成 — 4~5

立腰・躰と指導実践を学ぶ—初心者・中堅別に漢字教育研修
人が辞めない、病まない職場のポイントは?—保育部門中堅研修
専門知識の研鑽・スキルアップを一ケアマネジャー合同研修会
「親身に丁寧に教えてもらった!」—高齢者部門初の実習生交流会
福祉施設など研修ツアー フィリピン・セブ島へ京都3施設親睦会

子育て支援・地域貢献 — 6~7

「座布団読み講座」で実践発表 くるみ愛育園
消防士招き乳児の人工呼吸法など救命救急講習会 千里丘愛育園
高齢者のみなさん!ひと休みの「ほっと!タイム」ですよ 第二愛育園
認知症キッズサポーター養成 高槻けやきの郷/ライフステージ 舞夢
トピックス — 8

「みんな友達、ずっと友達」2m四方の巨大絵画



千里丘愛育園・認定こども園 正雀愛育園・認定こども園 一津屋愛育園の3ヶ園は摂津市の巨大絵画展(9/15~9/19)出展要請に応え、「大好きな摂津市」「みんな友達、ずっと友達」をテーマに各園の子どもたちが2メートル四方の大きな布に絵を描き参加しました。

摂津市市制施行50周年記念事業の一環で摂津市内の保育園・幼稚園・認定こども園対象にしたものです。布に色を塗るのは初めて。塗りにくいうえ、大人数でひとつの絵を仕上げるのに苦戦する姿も。どんな絵を描くか考え、分担して色塗りする中で協力する大切さも感じられるよい機会となりました。巨大絵画は摂津市立コミュニティプラザ1階で展示されました。

「eねこの歌」節電CMに協力 認定こども園 正雀愛育園の園児



認定こども園 正雀愛育園の園児58名が関西電力の「eねこの歌」の節電CMの撮影に協力しました(9/26)。「エコ育」の一環です。

CMソングの楽譜を問い合わせたことがきっかけです。いつもと勝手がちがう撮影に子どもたちは戸惑いながらも、最後まで元気な声で歌うことができました。撮影スタッフから褒められ、子どもたちの誇らしげな表情が印象的でした。

なお、関西電力Facebookに掲載(11/6~)されています。

“介護青年団”の 爽やか笑顔がいっぱい! 2017オリジナルカレンダー

ライフステージ 舞夢は前年に引き続きオリジナルカレンダー「2017笑顔のカレンダー Staff&Guest」を作成しました。

今年は人材確保で活躍中の“舞夢介護青年団”の爽やかな笑顔が特徴です。毎月、当施設のご利用者やスタッフの元気溢れるスナップ写真が満載です。ご利用者やご家族、地域の方に配布し、当施設のスタッフや雰囲気を知ってもらいたい機会に、また、就職フェアなどの採用活動にも活用し、介護の仕事の魅力を発信したいと考えています。

カレンダーご希望の方はご連絡ください。
☎0773-83-0221 ライフステージ 舞夢

愛育園Aチームが3位入賞 北摂ブロック職員バレーボール大会



北摂ブロック職員バレーボール大会(北摂ブロック保育部会主催)が箕面市立スカイアリーナで開催され、愛育園から選抜メンバー2チームが「がちんこマッチ」(愛育園A)と「なかよしリーグ」(愛育園B)に参加しました(11/27)。

がちんこマッチは全20チームが出場、予選リーグ、決勝トーナメントを勝ち上がり見事3位入賞。これからもチームワークを大切に優勝を目指したいと思います。

- 〔法人理念〕**
 1. 個人の尊厳を旨として、その人にふさわしい最善のサービスの提供に努める。
 2. 地域に開かれ、愛され、地域福祉の拠点となる施設経営を目指す。
 3. 専門的知識、技術の研鑽に努め、誇れる施設を目指す。
- 〔サービス目標〕**
 1. オンリーワンとナンバーワンを目指す。
 2. オンリーワンとはその施設にしかない特色の創造であり、ナンバーワンとはご利用者の処遇の満足度を高めるため、常時積極的な取り組みをすることである。
- 〔老人施設経営方針〕**
 1. 安らぎのある生活と環境を提供し、生きる喜びを創造する
 2. 介護機能の多様化を図り、ご利用者に対し、総合的なサービスの提供をする
 3. 地域の一員として、地域福祉の活性化に貢献し、超高齢社会のセーフティーネットの機能を発揮する
- 〔愛育園経営方針〕**
 1. 新しい時代に生きる力の基礎を培う。
 2. 女性の社会参加の支援に貢献する。
 3. 地域子育て支援を積極的に行い、子どもの成長を喜ぶ社会の実現に寄与する。

【発行日】2017年1月
 【発行】社会福祉法人 成光苑 (理事長 高岡 國士)
 〒566-0001 大阪府摂津市千里丘3丁目16-7
 TEL.06-6330-3776 FAX.06-6388-9551
 URL. http://www.onyx.dti.ne.jp/~seikouen/

★「ききょう」の由来
 創業者が愛した京都府福知山市は、冷泉を利用して地元に開放するお風呂を作り、当法人として老人施設を初めて開設した地。その福知山市の花である「桔梗」から名づけられました。「ききょう」の花言葉は「変わらぬ愛」「誠実」「感謝」「気品」。

巻頭言



社福法人制度改革が動き出す年、公益性を自覚し強い使命感を持ちたい

理事長 高岡 國士

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。日ごろから社会福祉法人成光苑の事業推進に多大のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

激動の時代続き求められる変化への対応

さて、昨年も引き続き激動の年でした。世界に目を向けますと、六月には英国のEU離脱決定があり、第二次世界大戦後の欧州を中心とした再編と歩みが一気に見直されることになりました。米国では次期大統領(二月二十日就任)にトランプ氏が選ばれたことから大国の保護主義台頭が懸念され、同盟国として成長してきた日本の経済にも大きな影響を及ぼすことが予測されています。

政治経済だけでなく、地球環境も温暖化による異常気象で地震など自然災害が多発し日常生活を脅かす状況となっています。今年も様々な生活環境の変化への対応を求められそうな年になりそうです。

公益性をどんな形で示すかがポイント

本誌(「ききょう」)でも繰り返しお伝えしてまいりましたように、われわれ福祉業界を取り巻く状況は今年二十九年、いよいよ社会福祉法人制度改革が動き出す一年に突入しました。

同制度が始まって六十一年以上が経過し、福祉ニーズが大きく変化、平成十二年の基礎構造改革

では措置から契約への移行が行なわれ、福祉サービスの提供主体が様々な分野から参入することになりました。

このたびの法改定は、社会福祉法人が公益性の高い法人にふさわしい規律を確保するための改革とされています。しかし、社会保障を取り巻く環境は厳しく、社会福祉事業がその水準を向上させることは国家態勢も含め困難が予測されており、それぞれの社会福祉法人が公益法人として、その使命感を強く持つことが重要であります。

公益法人としての公益性をどういった形で示すべきかが今回の制度改革の大きなポイントでしょう。内部留保的な資産は中長期的な計画を示すことと併せて、地域貢献への取り組みが義務付けられました。

人材確保を重点項目に取り組み

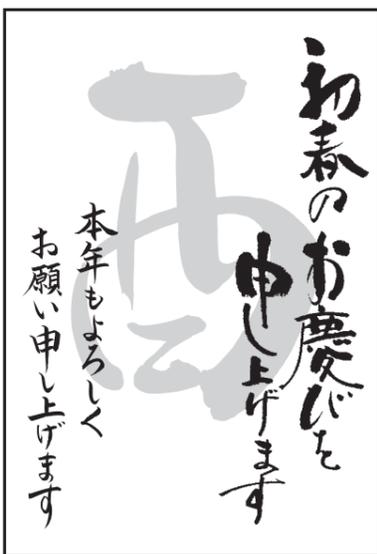
このような現状を直視し、成光苑では地域福祉の拠点としての機能強化を図る一方、喫緊の課題、人材確保を重点項目に取り組みたいと思っております。介護部門では、検討を進めてきた介護技能実習制度に基づく受け入れと併せ、専門学校と連携、来年度から新たに介護福祉士資格取得を目指すベトナム人留学生を介護現場でアルバイトとして受け入れることになりました。

保育部門では、国の施策として保育士などの処遇改善の充実も進み、新たな組織体制の構築と

働きやすい職場づくりを進めたいと考えています。

地域貢献活動は大阪府社会福祉協議会中心に実施している「大阪しあわせネットワーク」への積極的な参画、中間的就労の受け入れをはじめ、地域との交流を強化し潜在的な福祉ニーズの把握に注力、成光苑の各施設が改めて「地域にあってよかった」と評価されるよう目指したい。

大きな転換期に突入した今、われわれの使命は新たな時代に対応できる社会福祉法人を作り上げることであります。スタッフがより「一層」丸となり、地域福祉の拠点となり、地域に信頼され、愛される施設づくりの実現に努めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。



認知症キッズサポーター養成講座

～感想①～ 「私は認知症のことを知りませんでした。私のおじいちゃんやおばあちゃんが認知症になったら、今回の勉強をいかして優しく寄り添ってあげたいです」

竹の内小4年生の体験学習も



高槻けやきの郷 高槻けやきの郷の介護スタッフは2日間(11/10～11)にわたり竹の内小学校4年生を対象に「認知症キッズサポーター養成講座・体験学習」を行い、認知症とその病気への対応などわかりやすく説明しました。

1日目はおばあちゃんと孫が登場する寸劇。またグループワークでは純粋で心優しい意見が交換されました。2日目は体験学習で器材を使った高齢者疑似体験です。最後に認知症サポーターの証「オレンジリング」を贈呈。優しさや思いやりの輪が広がるよう活動を継続することができればと願っています。

ライフ・ステージ 舞夢も岡田小4年生対象に

ライフ・ステージ 舞夢は、地域の岡田小学校4年生全員(13名)が訪れ認知症サポーターキッズ養成講座を実施しました(11/21)。

同小学校では、認知症について事前に勉強したいとのことで、中には「祖母が認知症」「地域のデイサービスに見学に行ってきた」という生徒さんもおられました。「認知症ってなあに?」をテーマに講義後、ペープサート(紙人形劇)で認知症高齢者に関わるポイントを解説しました。

講座終了後、サポーターの証「オレンジリング」を手に「ランドセルにつける!」と元気な声があがりました。後日寄せられた感想では「認知症の人にやさしく接したい」など認知症について関心を持って学んでもらえた機会となったようです。

地域の中で認知症高齢者を支える一員として、若い力の活躍を期待し、今後もサポーターの養成に力を入れたいと思います。



福知山市消防出初式で消防長表彰

地域住民との合同訓練を評価され



サンヒルズ紫豊館は1月8日の福知山市消防出初式(福知山市厚生会館)で消防長表彰(消防活動協力表彰)を授与されました。上豊富自治会長運営協議会、福知山市消防団上豊分団と当施設の3者間で「災害時における、協力体制および避難に関する協定」を昨年2月に締結、一次避難所としての役割を担うとともに、地域住民を交えた合同訓練も評価されました。スタッフ一同、今後とも気を引き締め、防災に万全を期したいと思います。

▼金谷保育園園児招き暖炉の火入れ式(岩戸ホーム) 近くの金谷保育園の園児27名を招き、地域交流スペースにある暖炉の火入れ式を行いました(11/11)。園児たちが保育園の農園で育てたサツマイモを暖炉で焼き芋に。童謡のプレゼントもあり、ご利用者も元気をもらい大喜びでした。

▼恒例のイルミネーション点灯(岩戸ホーム) 恒例の「鴨野町カモナリエ点灯式」が開かれ地域住民、ご利用者らが参加し斉に点灯されました(12/3)。地域合同のイベントで、鴨野町内がイルミネーションに彩られ、幻想的な風景に歓声があがりました。

▼亀の甲より年の甲 亀ヶ池の知恵袋が力作出品(吹田亀ヶ池ホーム・ココリス) 地域交流スペースで「亀の甲より年の甲 亀ヶ池の知恵袋」をキャッチコピーに文化展を開催(11/3・11/8)。書道、フラワーアレンジメントなど力と魂のこもった作品がずらり。優秀作品には賞状が授与され「この年になって賞状をもらえるなんて」と喜ばれるご利用者も。

▼信楽の登り窯や宇治平等院を見学(摂津市老人福祉センター) せつづ桜苑併設「ご利用者や地域の方を対象に貸し切りバスで滋賀県信楽町、京都府宇治市へ出かけ、日本最大級の登り窯を備えた宗陶苑、宇治平等院、鳳凰堂などを見学(7/11)。地域交流の環で、陶芸同好会の方も参加され「作品づくりの参考に」と関心を持たれていました。



大冠高3年18名と福祉講座開く 高槻市の「あんしんねっとあゆむ」

高槻けやきの郷が加盟している高槻市民間社会福祉施設連絡会の「あんしんねっとあゆむ」(昭和60年創設)は近隣の大冠高校の3年生28名と「福祉とは。福祉の現場を感じる」をテーマに講義と見学を兼ねた会合を開きました(9/30)。

同連絡会は高槻市内の保育・児童・障がい・高齢関係の施設が地域に開かれた施設として地域福祉の向上に努め、様々な福祉ニーズに対応するため設立されました。

会合では高槻市社協(同連絡会事務局)が福祉全般、また各分野からの説明があり、高槻けやきの郷は高齢者福祉と介護の仕事のやりがいについて話をしました。



高槻けやきの郷は介護の仕事のやりがいアピール

施設見学後の質疑応答では、学生から意見や様々な質問が出され活気のある有意義な時間を過ごしました。翌週には当施設の送迎車同乗体験などを行いました。福祉の職場体験を重ねることで福祉分野への理解・興味を持ってもらえる高校生が増えればと願っています。

オープンデイで安全・安楽のリフト紹介も

ライフ・ステージ 舞夢の今年度のオープンデイ(11/6)は福祉用具業者による「福祉機器・福祉用具説明体験会」を開催、地域で在宅介護をされている方やご利用者のご家族、実際に杖やシルバーカーなどの福祉用具を使用されている高齢者など32名の方が参加されました。



同体験会では杖やシルバーカー、靴の選び方をわかりやすく説明、靴については、足型の計測機械に参加者の注目が集まりました。自分に合った靴を選ぶには自分の足の形を知ることがポイント、「私の足も測って!」と参加者。ご家族からも「靴を買っても、実際に履いたら合わなくて困っていました」といった声も聞かれました。

スタッフからは「どうすれば福祉用具を利用できるか?」の説明と10月に導入したリフトについて報告。このリフトはベッドから車椅子、車椅子からベッドまでの移乗、立ち上りや移動のお手伝いが必要とされる方が対象の福祉機器です。リフト導入はご利用者に安定した安全・安楽な移動を提供するためです。スタッフが正しくリフトを使いこなせるようリフト勉強会も実施しました。現在、使用対象者は2名ですが、多くのご利用者に提供できるよう取り組む方針です。

短 信



日本での生活支援の受け皿として協力

ベトナム人留学生の選考会に参加 国立看護大学の学生・卒業生対象に面接



成光苑(高齢者部門)は昨年12月13日から4日間の日程で、ベトナム人留学生の選考会に藤原 義章・岩戸ホーム施設長、佐藤 裕之・吹田竜ヶ池ホーム施設長、中島 弘治・法人本部採用担当が参加しました。日本からの参加者は成光苑を含め2社・3法人13名。



選考会にはハノイから車で約2時間の国立看護大学の学生、または卒業生62名が出席。面接は同看護大学に隣接する日本語学校の現地人通訳を介して行われ、当法人は3時間超(6名)の面接を行いました。

留学生は語学留学の形で来日されるので、日本での留学生の生活を支えるためのアルバイト先(受け皿)として当法人も協力することになりました。

日ごろ実習生の受け入れを依頼されている介護福祉士養成校が介護福祉士を養成する留学生コース(定員20名)を新設することになり、今回の選考会への参加を要請されたものです。

介護業界でも海外から技能実習生の受け入れが始まろうとしています。高度経済成長を果たした日本が、海外からのマンパワーに頼らざるを得ない現実がひしひしと感じられました。帰路のベトナムの空港ロビーで、日本に向け航空機の出発を待つ20名を超える若い女性の技能実習生が、新調したリクルートスーツに身を包み親族の見送りに手を振る姿が印象的でした。

29年度新規採用者(高齢者部門)8名の内定式

「仕事を前向きに、何事もポジティブに」と 高岡理事長が激励



成光苑(高齢者部門)の29年度新規採用者(高卒除く)8名の内定式が行われ(12/4)、高岡国土理事長は「仕事を通じ人間的に成長するためには分業、協業、上下関係の苦労もあるが、与えられた仕事を前向きに、何事もポジティブに考え頑張ってください」と内定者を激励されました。

各施設長の紹介があり、人材育成・研修体系について説明。先輩スタッフからは「学生時代に、せつ桜苑で実習、ご利用者の笑顔やスタッフの明るい雰囲気が印象的だったので成光苑に応募しました」と入社後の経緯に触れ「介護の現場では学校で学んだこと以上に困難なこともあるが、ご利用者の笑顔やご家族からの温かい言葉に支えられる日々。4月から一緒に頑張りたい」とエールが送られました。

内定者の自己紹介はアルファベット1文字の「一言PR」。「S」(スーパー頑張る)、「O」(おっどり)、「P」(ポジティブ)から「B」(二番目でいい)などユニークな表現も。自分の長所を生かし、成光苑のスタッフとしての活躍を期待しています。

岩戸ホーム・藤原施設長に厚生労働大臣表彰



藤原義章施設長、厚生労働大臣表彰受賞祝賀会
岩戸ホームの藤原義章施設長が昨年11月11日、28年度社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰を受けられました。長年にわたり高齢者福祉に尽力された功績に加え、広域的な社会福祉事業の推進に寄与されたことが高く評価されたものです。
藤原施設長は昭和54年、岩戸ホーム開設時から先代理事長はじめ高岡国土理事長の右腕としてリーダーシップを発揮、「地域に根ざした施設づくり」をモットーに精力的に活動されています。

安全祈願心地鎮祭



岩戸ホーム

特別養護老人ホームを増改築へ

岩戸ホームは特別養護老人ホーム昭和54年開設)の老朽化に伴い、増改築工事の地鎮祭を行いました(10/3)。
式典には高岡国土理事長はじめ法人役員、野町自治会長、設計事務所や工事関係者が列席。二宮神社の斎主殿に祝詞をあげていただき、工事期間中の安全を祈願しました。29年度中には部完成、2年後の30年3月末には竣工の予定です。
同施設は成光苑の高齢者福祉の原点で、長い歴史を地域とともに歩んできましたが、岩戸ホーム(特養)の新たな歩の始まりです。さらなる歴史を刻むべく、ご利用者やご家族、地域の方、そしてスタッフ一同、完成を心待ちにしています。

建物外壁を塗り替え



サンヒルズ紫豊館

サンヒルズ紫豊館は昨年9月中旬から11月末まで建物の補修を兼ね外壁の塗り替え工事を行いました。平成8年の開設から20年が経過し、外壁塗装の老朽が目立つてきたためです。
工事は無事完了し、面会のご家族や地域の方から「見違えるようになった」と温かい声が寄せられています。

せつ桜苑も中間的就労事業に取り組む

生活困窮者自立支援法の施行(27年度)に伴い、社会貢献事業の一環として中間的就労事業の展開が本格化していますが、せつ桜苑では28年9月20日、大阪府の認定通知書を受け、11月1日から摂津市の支援要請で1名の就労準備事業に取り組みました。成光苑では吹田竜ヶ池ホームがすでに開始(27年5月)しています。

せつ桜苑では就労支援担当者養成研修を実施、摂津市と調整・連携しながら準備。今回は同市生活支援課から、生活困窮に陥っている男性、Oさん(38歳)で、10日間の「お試し就労」環境整備からスタート。同市担当者と事業所を訪れたOさんは、事前アセスメントで希望などを聞き出し、綿密な計画で受け入れ準備をしていたこと

お試し就労に1名受け入れ

もあり、当施設の担当スタッフと一緒に作業に入ると一生懸命に掃除や作業に取り組みました。Oさんは毎回その日を振り返り「時間がすぐに経ってしまい、まだまだやれます」と仕事内容を気に入った様子でした。

市担当者からは「Oさんはここ(せつ桜苑)の仕事に気に入られ就労にぜひ結びつけてほしいと懇願されています。就労意欲が前向きです」とのことでした。

受け入れには多くの困難や課題も想定されますが、関係機関と連携を深め相談支援活動だけでなく、地域社会で社会福祉法人が果たす役割をさらに進めるため、今回の成果を生かしスタッフのグレードアップを図りたいと思っています。

大切な乳幼児期からの絵本読み聞かせ 鈴木健司氏の「絵本講座」にお母さんも真剣 ～子育て支援の「あい・あいパーク」～

子育て支援のイベント「第12回あい・あいパーク」(小路地区民生委員、くるみ愛育園、東生野保育所、くるみ小規模保育園共催)が小路小学校体育館で開かれ、各姉妹園のスタッフが協力、コーナー遊びや寸劇、パラバルーンなどの遊びを親子で楽しんでもらうことができました(11/18)。

今回は講師に迎えた鈴木健司氏(大阪東こどものとも社、読み聞かせボランティアサークル三丁目の鷹)が「絵本講座」として乳幼児期からの絵本の読み聞かせの大切さについて講演、真剣に耳を傾けるお母さんの姿が印象的でした。



終了後、子育て対策委員会で作成した「絵本とともだち」増刊号「座布団読み」を配布しました。

「座布団読み講座」で実践発表 くるみ愛育園

「座布団読み講座」で実践発表

くるみ愛育園は東淀川区民センターで開かれた「座布団読み講座」(大阪市東淀川区主催)に参加し、東淀川区内の保育士・幼稚園教諭を対象に実践発表と質疑応答を行いました(11/7)。

くるみ愛育園では月1回、座布団に座ったお母さんの膝の上で子どもが絵本を読んでもらう「座布団読み」という取り組みを行っています。お母さんの膝に子どもが座ることで

キンシップが図れ、子どもの情緒が安定するといわれていることから、乳児保育に特化している当園では5年程前から実践しています。行政関係者が見学に来られるようになり、今回東淀川区の要請を受けました。特別なテクニックを報告したわけではなく、本来の親子の光景を思い浮かべながら、この取り組みを通し親子愛が一層深まればと願っているものです。

座布団に座り膝の上で絵本の読み聞かせ

▼摂津警察署長から表彰状と楯認定子ども園一津屋愛育園 昨年9月21日、交通安全活動の取り組みに対し摂津警察署長から表彰状と楯を授与されました。



▼5歳児らの踊り「ソーラン節」に歓声(第二愛育園きりん夜間愛育園) 秋祭り(11/12)のオープニングで5歳児(虹組ぞう組)とスタッフが「ソーラン節」を踊り迫力ある姿に大きな拍手と歓声が…。模擬店ではパラバルーンや綿菓子など。製作コーナーではマラカスなどを作り、親子楽しく過ごした日でした。



人形使い乳児の人工呼吸法など 消防士を講師に救命救急講習会

千里丘愛育園

千里丘愛育園の子育て支援室で摂津市消防署の3名の消防士を講師に救命救急講習会が開かれました(10/20)。

乳児の子どもを持つ地域の保護者5名が参加、乳児の人形を使い胸骨圧迫、人工呼吸のやり方、AEDの取り扱い方法などの指導が行われました。乳児の場合、指を使った胸骨圧迫になるので力加減が難しかったり、AEDのパッドを貼る位置に戸惑ったりする姿も見られました。

参加された保護者から「消防士さんに直接指導してもらい参考になった」「乳児の対応法を体験できた」などの声が寄せられ有意義な講習会となりました。



短 信

▼オリジナルハッピー着て「いくのニョーおどり」(東生野保育所) 5歳児(13名)が「第9回舞踊フェスタ」(大阪市生野区舞踊フェスタ実行委員会主催)に出演、オリジナルハッピーを着てグループ団体の方と一緒に「いくのニョーおどり」を披露(10/30)。



▼小路小の民族学級発表会に参加(くるみ愛育園) 2歳児18名・くるみ小規模保育園(2歳児6名)が小路小学校主催の「民族学級・国際理解の学習校内発表会」に参加(11/16)、珍しい楽器の音に合わせ色鮮やかな民族衣装のみなさんの舞踊を楽しみました。当園はアジア圏を主とする多民族が共生するエリアにあり、異文化への理解を深める機会になっています。



米国人講師招き公開保育



25名参加しハサミの使い方など体験

第二愛育園で公開保育が行われ、各愛育園から25名の保育スタッフが参加しました(10/25)。講師はアメリカから招いたテリー・スザン氏。スザン氏は子どもの創造性、表現力を高める切り絵・ハサミ教育、トレーニングセミナーやワークショップなどを展開されています。

午前は2歳児～5歳児の子どもたちにハンドエアロビクスを教えたり、5歳児にはハサミを使った製作指導。午後はスタッフ対象に、保育に役立つ紙のちぎり方、ハサミの様々な使い方など体験指導されました。

一つのハサミでも使い方や技術があることを知ることができました。子どもたちがもっと手指を存分に使い、自分で作りたくなる遊びを保育に取り入れる必要があることを教えられました。



人が辞めない、病まない職場のポイントとは？

助け合いとコミュニケーション

成光苑保育部門は愛育会館で、主任・主幹、中堅スタッフを対象にコミュニケーション研修を行い、45名の保育スタッフが参加しました(11/26)。講師は女性ライフサイクル研究所

フェリアンの津村 薫氏で、テーマは「心に届くコミュニケーション」。津村氏は、人が辞めない、病まない職場を作るポイントとして「助け合い」と「コミュニケーション」を強調。コミュニケーションで重要なことは「あなたが大切です」という思いが伝わることで指導されました。

「時代が変わるとともに周りの環境も変わっていきます。経験が豊富でも状況に応じて自分も変わっていく必要がある。肯定的な言葉を使い信頼すること」など、わかりやすく説明されました。この研修を機に、改めて保育を振り返り、若いスタッフにも心を届けたいと感じさせられました。

保育部門の中堅研修に45名参加



現場目線のキメ細かい情報交換～岡山で合同研修～

第5回3法人合同研修(保育部門=クムレ・白鳩会・成光苑)が認定こども園 小ざくら保育園(岡山県)で行われ、成光苑から保育スタッフ18名が参加しました(10/28)。前半は施設見学と実際の保育を見学、後半はグループディスカッションで、他園の保育方針や取り組みに対する目標など現場目線のキメ細かい情報交換を行いました。他法人との交流を図ることができるのも合同研修の特色です。

保育3法人

専門的知識の研鑽 スキルアップをめざせ! 研修

ケアマネジャー対象に 合同研修会

- せつつ桜苑 高槻けやきの郷 吹田竜ヶ池ホーム

成光苑の高齢者部門大阪3施設(せつつ桜苑・高槻けやきの郷・吹田竜ヶ池ホーム)は今年度から居宅介護支援事業所に属する全ケアマネジャーを対象に合同研修会を行っています。ケアマネジャーが業務を遂行するうえで順守すべきルールなどを踏まえ、改めて根拠に基づいたケアプラン作成上の留意点を共有するのがねらいです。

各事業所の管理者が事前に協議し、研修内容を決め、大阪府や京都府の介護支援専門員協会へ講師派遣を依頼。研修テーマは5月、高槻けやきの郷で「倫理、高齢者虐待、個人情報」▽8月(2回目)、吹田竜ヶ池ホームで「ケアマネジメント力を身につけよう～根拠のわかるケアマネになる」▽11月(3回目)、せつつ桜苑で「法令遵守とケアマネジメント～必要書類の根拠と整理」の内容で3回にわたり実施しました。

ケアマネジャーという職種は「業務独占」で、ケアプランによって利用者のサービス内容が決まります。このため、さらに専門的な知識の研鑽とスキルアップを目標に次年度も研修を企画したいと思っています。

立腰・躰と指導の基本を学ぶ 初心者、中堅別に漢字教育研修

成光苑保育部門では、日本漢字教育振興協会の山崎 美知子氏を講師に招き、きりん夜間愛育園ホールで漢字教育研修を2回にわたり実施しました。

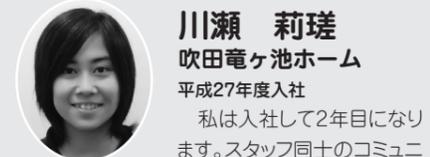
初心者対象の1回目(4/30)は、立腰(りつよう)・躰(しつけ)の3原則(※別項)と漢字指導の実践、漢字カードの張り方・めくり方、絵本の読み方などの基本を学びました。2回目(10/29)の中堅対象は、各園代表がこれまでの実践発表を行い、山崎氏から細かなアドバイスを受けました。参加スタッフも積極的に質問、自身の指導方法を振り返り、客観的に見つめることができる機会となりました。

3原則

- 1. 特に朝、「おはようございます」と明るくあいさつをします。 2. 呼ばれたら、「ハイ」と返事をします。 3. はきものをきちんとそろえ、席を立ったら椅子を入れます。

～先輩からのメッセージ～

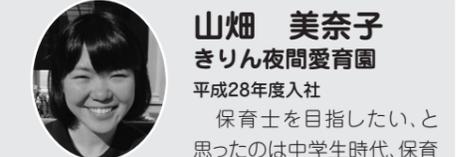
先輩の温かいサポートが支え ご入居者の多様な求めに対応



川瀬 莉瑛 吹田竜ヶ池ホーム 平成27年度入社

私は入社して2年目になります。スタッフ同士のコミュニケーションも活発で日々楽しく過ごしています。介護の仕事は、個々のご入居者の考え方や価値観の尊重を大前提に、求められる対応も多様です。時に悩むこともありますが、先輩の助言や指導からも様々なことを学び、温かくサポートしてもらっています。私も年数を重ねれば先輩のような立場になります。そのことを自覚し、専門的知識の習得、技術の向上に努めたいと思っています。

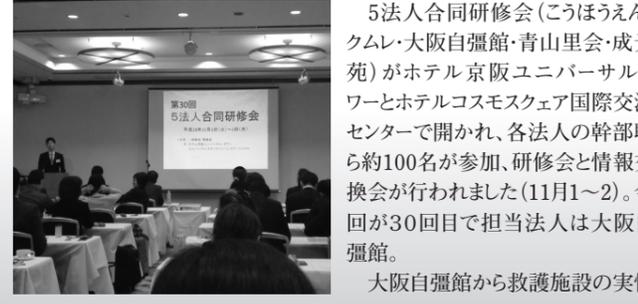
子どもたちの笑顔が大好きなんです! 中学生時代の夢を成光苑で実現



山畑 美奈子 きりん夜間愛育園 平成28年度入社

保育士を目指したい、と思ったのは中学生時代。保育園での職業体験の時でした。笑顔で子どもたちと接する先生方を見て感激したのがきっかけです。就職活動で成光苑へ園見学に来ましたが、以前に体験した時と同じように、先生方の子どもたちと接している姿、温かい雰囲気「ここで働きたい!」と。実際の保育では難しさを感じることもありますが、子どもたちの笑顔が大好きなんです。先輩の指導に支えられ日々頑張っています。

生活困窮者自立支援の役割など ～合同研修会で活発な質疑応答～



5法人

5法人合同研修会(こうほうえん・クムレ・大阪自強館・青山里会・成光苑)がホテル京阪ユニバーサルタワーとホテルコスモスクエア国際交流センターで開かれ、各法人の幹部職ら約100名が参加、研修会と情報交換会が行われました(11月1～2)。今回は30回目担当法人は大阪自強館。大阪自強館から救護施設の実情

日本の介護・看護分野に就労の期待膨らむ

高年齢者部門京都3施設(岩戸ホーム、サンヒル 紫雲館、ライフステージ)舞夢ではスタッフ親睦会の共同企画で、フィリピン・セブ島に親睦研修旅行を実施(11/10・11/13、セブ島に親睦研修施設や日本語教育施設を視察しました。「セントカミロス修道院付属老人介護施設」(写真)では担当者から運営状況などの説明を受け施設見学と意見交換を行いました。入所者からの利用料や寄付で運営、シスターやケアギバー(介護士)を中心に介護されています。ご利用者は屋外で日光浴をされるなどゆつたりとした環境で暮らされている印象でした。



次に訪れたマザーテレサ教団運営の施設「ガササグマ」では障がい者や高齢者、10代の子どもが生活。置き去りにされるなど身寄りがなく、入所の経緯を聞くに胸が痛むと同時に、この施設の重要性を実感しました。日本語養成施設では「UNOTH(ウノス) Corporation」ペニーさんの日本語教室」の2カ所を視察。「UNOTH Corporation」運営の日本語養成施設は日系のフィリピン人が対象(10歳～55歳)で、多くが日本での就労を目的とし受講、日

ご利用者を大切に、施設のファンを増やそう ～高齢者部門新規採用職員研修～

成光苑高齢者部門では、吹田竜ヶ池ホームを会場に新規採用職員研修が実施されました(10/28)。同研修はコミュニケーション力を磨いてサービスの向上を図り、ご利用者一人ひとりを大切にすること、施設のファンを増やすことが主な内容です。介護の仕事でも報告、連絡、相談を徹底すること、基本的なビジネスマナーの習得や社会福祉法人の仕事に従事するにあたり、組織人としての心得や役割、その立場の理解を深めるための講義も行われました。今回の講義で受講者の目標や目的が明確になり、意識の向上につながったと思われま。初心を忘れることなく、次のステップに向かっての頑張りへ期待が高まります。

「アットホームで丁寧に教えてもらった!」

実習生と実習指導者の合同交流会 ～高槻けやきの郷とせつつ桜苑が初の試み～



高槻けやきの郷とせつつ桜苑の両施設は社会福祉士や介護福祉士を目指す施設実習中の学生8名(4校)と実習指導者の合同実習生交流会を行いました(11/21)。このような試みは初めて。これまでも充実した実習を目指しプログラムを工夫してきましたが、学生に対し成光苑の印象を強く訴えることや介護人材確保の目的も含め実現しました。同交流会への参加は任意だったものの、実習中の学生全員が集まりました。

6名の介護スタッフ参加 第7回 AJCC

第7回オールジャパンケアコンテスト(AJCC、社会福祉法人こうほうえん主催)が米子コンベンションセンター(鳥取県)で開かれ、成光苑高齢者施設から6名の介護スタッフが参加しました(10/8)。



同コンテストには全国から約120名の介護のプロが参加、6つの介護分野に分かれ、それぞれの課題に応じた実技を披露するものです。次世代を担う若いスタッフの介護技術のレベルアップにつながる貴重な経験となりました。実習中の感想や学んだこと、お互いの実習施設の紹介もしてもらい、「アットホームで丁寧に教えてもらっています」「スタッフさんは積極的に研修に参加され、学ぶ意欲や向上心に驚きました」など学生目線の意見も寄せられました。このような学生との交流を今後も重ね、当法人の魅力をアピール、施設と実習生、この機会に出会った実習生同士のつながりを大切にしたいと思っています。